



みとこ

佐野市立三好小学校
校長室だより

令和元年 7 月 3 日号

言葉、行動 心の成長

道徳から道徳科になって、より自分をしっかり見つめることが大切になっています。だれでも、より良い行動は分かっています。「一生懸命・・・します」「いじめはしません」「困っている友達を助けてたいです」

道徳科は、そんな決まり切った分かっていること、良いことを発表し合うだけの時間ではなく、教科書や友達との話合いなどから、自分はどうかな、今までの自分を振り返りこれからはなにができるか、など自分を見つめ直すことが大切です。

毎日毎時間のように、「先生、〇〇さんが・・・してきました。」と訴えを子供たちはしてきます。人と人との関わりは大変難しく、本当は仲よく遊びたいのにうまく言えずに、相手がいやがるような行動をする子がいます。善悪の意識が高く、周囲の行動の一つ一つが気になり、注意を繰り返している児童もいます。誰かの気を引きたくて、わざと悪ぶったり、良くない行動をする子もいます。

集団生活では、このような様々なことを経験し、学び続けていきます。一人一人気になることは違い、困ったことへの対応の仕方や耐性も異なります。同じように指導できないこともあります。公平、平等の言葉の重みも考えながら、一人一人に合った指導をしようと私たちも研修を重ねています。

教職員が耳にした言葉や目にした行動の一部紹介

- ・朝顔の葉っぱって、「犬」みたい。
- ・僕らはみんな生きている、生きているから歌うんだ・・・
- ・地域の方の靴を端から中央に持ってきて、向きを変え履きやすいように置き換えていた。
- ・算数、楽しいんです。
- ・花が咲きました。〇〇さんのも咲きました。

6月の出来事から



「防犯教室」もしランドセルをつかまれたら、背中から外して体は走って近くの家へ。必要なときに、大きな声を出せるかも重要です。



「なかよし班会食」異なる学年でも、美味しく給食を食べます。なかよし班ならではの話題に、食事の手が止まってしまうこともしばしばですが、高学年の食べ方につられいつもよりたくさん食べる下学年もいます。

裏面あり

温故知新

P T A会報「みよし」第6号の記事から

昭和27年7月10日に発行されたP T A会報「みよし」が現在手元にある最古の物です。当時は小中学校が同じ敷地にあったため内容も、小学校部分と中学校部分がありました。見出しと内容を一部紹介します。

- 「健康の敵」蛔虫を殺せ
- 教育は次代への投資である
- より良い子供にするために
 - ・明るい環境を作ること
 - ・理解を持つこと
 - ・お金の使途を明確に
- 親と子と先生と
- 生徒の希望する職業（多い順に）
 - ・農業
 - ・製造工業
 - ・商業
 - ・サービス業
 - ・公務及び団体
 - ・自由業
 - ・運輸通信業
- 生徒作品
 - ・虫歯予防に関する標語
 - ・結核予防に関する標語

その時代ならではの内容とともに、今にも通じることがあるようです。

お願い

残念ながら、第1号から5号が見当たりません。もし、お手元にありましたらご連絡いただければ幸いです。

あ「のつくひ

工藤 直子

あめのひの

あさでした

あまがえるが

あっちから ぴょん

あじさいに

あいました

「あ、あじさい こんにちは」

「あら、あまがえる いらっしやい」

あまがえると

あじさいが

あめのふる あさ

あいさつして それからいっしょに

あそびました